



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学災害科学国際研究所

第19回東北大学災害科学研究拠点セミナー
第32回「災害と健康」学際研究推進セミナー

災害精神医学研究の実際

災害精神医学分野が行っている多彩な研究とその成果をご紹介します。

日本で災害時あるいは災害後の心のケアの必要性が認識されたのは、比較的最近の阪神・淡路大震災の後になります。その後の新潟中越地震、東日本大震災等の経験を経て災害時のメンタルヘルスの重要性は広く認識されるようになり、今日の体系だった学問としての災害精神医学が構築される上での礎となっています。そして東日本大震災後10年という節目を迎えた今、私たちは新型コロナウイルス感染症による特殊災害に見舞われており、今後長期にわたって様々なメンタルヘルスの問題を生むことが懸念されています。そのような背景を踏まえ、災害精神医学分野は基礎医学、臨床医学や関連する学問分野の多角的な手法を用いて、災害が精神面に与える影響を研究しています。本セミナーでは、当分野が行っている多彩な研究の概要をご紹介します。特に、コロナ禍におけるメンタルヘルスの実態調査や同じCBRNE災害である原発事故後の避難転院者の帰還支援プロジェクトについてその成果についてご報告いたします。また、災害精神医学の前提として、精神疾患や心の健康やストレスの本質の理解に向けた精神医学研究が重要と考えられますが、日本の生物学的精神医学研究の基盤として重要と考えられ全国に先駆けて構築された精神疾患ブレインバンクと死後脳研究についてもお話ししたいと思います。



東北大学災害科学国際研究所
災害精神医学分野 准教授

國井 泰人 先生

2020年4月より現職の東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野准教授。日本学術会議特任連携会員。日本精神神経学会災害支援委員会委員、日本生物学的精神医学会ブレインバンク委員会副委員長。

2021年11月25日（木）
16:00～17:30

WEB 開催
(ZOOM)

本セミナーは医学系研究科系統講義コース科目の授業として振替可能です

お申し込み・お問い合わせ

東北大学災害科学国際研究所
「災害と健康」プロジェクトユニット

<http://www.irides-pudh.med.tohoku.ac.jp>



指定国立大
災害科学 世界トップレベル研究拠点